

日	月	概	要
九	九	熊本に於て編成	
一〇	九	広東進駐	
二	九	仏印西貢上陸	
四	九	陸路泰を經て緬甸に転進	
一〇	九	広東附近の警備並に輸送	
一〇	九	北部緬甸作戦	
一六	九	残敵掃蕩並に警備	
三〇	九	三号作戦	
三〇	九	緬甸防衛並に次期作戦準備	
			新 塘 見習士官 病 一
			ワンテン附近 下兵 戦 一
			ラングーン 下兵 戦 九
			トングー 病 一
			ラシオ 下兵 戦 一
			ワンチン 下兵 傷 一
			タンガッパ 下兵 戦 一
			タンガッパ 下兵 戦 一
			バド 下兵 戦 一

独立自動車中五五大隊  
部隊長代理

森 屋 繁 男

~323~

2031

年月日	西 五 二〇	至 自 四 六 三〇	至 自 八 一 一	至 自 八 一 一
概	八号作戦	先作戦	遠作戦	終戦後
要	ラシオ突病 下兵 病一 泰緬国境 下兵 戦二 モールメン突病 下兵 病一	ラングーノ七兵病 下兵 病二 ラングーノ七兵病 下兵 病一	アランミヲ附近下兵 戦三 イボシ 下兵 戦一 シタン。大突病 下兵 病三 ラングーノ 下兵 戦一 パンダン 下兵 戦二 ペチマゴン 下兵 戦二 アロームー 持校 戦四	チャイトニハ突病 下兵 病一 チャイト附近まで下兵 病 二三四 ゼリンニハ突病 下兵 病二

224~

2032

年月日	
要	<p>部隊事情精通者</p> <p>歴代部隊長名</p> <p>川村 尚好      武士侯 勲      笠 隆二郎</p> <p>鹿兒島県師ヶ範学校女子部隊軍大尉      森屋 麓 男      宮崎県鬼湯郡新田村大字新田 陸軍准尉      諸 方 実</p>
要	<p>クシヤムヲニ野病 下兵 病六      龍芳ニ野病 下兵 病二      トロク混患療 下兵 病一      パウン一〇七兵病 下兵 病一      パマジ莫病 下兵 病一      トグー一八兵病 下兵 病二</p>

2033

2033

渡河材料オ一〇中隊

陸軍大尉

藤

岡

寅

男

年月日	昭天七、三 一、二、三	説 此 説	至 終 戦
	南支那広東省広東(番禺県)崗村に於て編成 南支より緬甸に転進以後南部「ビルマ」北部ビルマ両作戦を経て「アラカン」 地区に転進、 三一号、八号両作戦に参加。此の間、将校二、下士官以下三五名戦(病傷)死 者あり 完作戦に参加「アラカン」地区より「イラワザ」河「デルタ」地区に転進、 同地区沿岸防衛に任じたる後「テナセリウム」地区に転進を命ぜられ中隊長以 下一〇三名は同地区転進に成功せるも後續小隊或いは海より上陸し来れる敵に 遭遇交戦突砲の際生死不明者を生じ、或いは、完全に進路を遮断され、迂廻中 反軍部隊に混じり同行する等、主力一部連絡途絶するに到る、 下士官以下八名、戦死二名、戦病死将校二名、下士官以下一四名生死不明 となる 転進完了せる主力は「テナセリウム」地区に於ける渡河輸送に任ずたる後「シ ンタン」右岸に於けるオ一八師団の反撃作戦に参加渡河舟艇に依る輸送に従事 中終戦となる一部敵中に取残されたる部隊は七月二〇日「ペグ」山脈より出撃		

年月日	概要
	<p>反軍占領地区に向い、前進を開始せるも、人員の損耗甚しく生還せる者五分の一に過ぎず、下士官以下戦(病傷)死三四名、生死不明下士官以下八二名(前後詳細なる事情別紙参照)</p> <p>歴代部隊長名</p> <p>陸軍大尉 藤岡寅男(移動なし)</p> <p>部隊事情精通者</p> <p>名城県栗原郡玉沢村大字玉敷字照越大ヶ原</p> <p>陸軍大尉 藤岡寅男</p> <p>宮城県仙台市勾当台通六</p> <p>陸軍准尉 鈴木忠光</p> <p>北海道空知郡芦別町</p> <p>陸軍准尉 伊藤武男</p>

特設自動車第一〇中隊

中尉 佐藤紫治

年月日	概	要
昭五三	於て編成、	軍令陸甲ヲ三一号及ハ陸軍機密ヲニ九号に依リ「スマトラ」島「メダン」市に於て編成、
五、三	担任部隊近衛カニ師団に於て編成せらる同日編成完結	担より一〇月二日迄「スマトラ」島に在りて教育訓練並ハ同地附近の輸送業務に任ず
九、三	スマトラ島「ベラワン」港出発	
五、三	昭南島上陸、爾後、南後南方軍貨物廠長の指揮下に在りて昭南島の警備並に、輸送業務に従事す。	
五、三、五	緬甸転進の爲、昭南港出発	
三、五	仏印西貢上陸	
三、五	仏印泰固境通過	
四、五	泰固緬甸境通過、爾後、中二八軍司令官の隷下に在りて警備作戦参加並に輸送業務に従事す	
三、四、五	内地帰還のため緬甸国「ラングーン」出発	
五、二	佐世保上陸、同日復員完結	

年	月	日	概	要
昭和	五	三	カニ八軍司令官の隷下	
昭和	五	三	カニ五軍司令官の指揮下	
昭和	五	三	南方軍貨物廠長の指揮下	
昭和	五	三	カニ一五軍司令官の隷下	
昭和	五	三	カニ三三兵站自動車隊長指揮下	
昭和	五	三	カニ五野戦輸送司令官の指揮下	
昭和	五	三	緬甸方面軍兵站監の指揮下	
昭和	五	三	カニ二八軍司令官の指揮下	死傷損耗 給 養 衛 生
昭和	五	三	スマトラ島防衛	ナシ 川増ナリ 良好
昭和	五	三	昭南島の警備並に輸送業務	ナシ 川滑ナリ 良好
昭和	五	三	八号作戦参加	
昭和	五	三	四月五日より五月八日迄カニ三兵站自	戦病死一概不入川滑二 概未良好
昭和	五	三	動車隊長の指揮下に在りて「マルタバン	突進せらるなり
昭和	五	三	「マシダレー」間、全車輛を以て、	ナシ 内地より 概未良好
昭和	五	三	カニカ並に彈薬の緊急輸送に任ず	
昭和	五	三	カニ号作戦参加	の追送途絶 なり
昭和	五	三	五月九日より五月一七日迄カニ一五軍司令官の指	し糧秣は 悪性マラ
昭和	五	三	揮下に在りて全車輛を以て「ラングリン」	





年月日	概
七、三	「マングレー」幹線突破
七、六	「シツタン」河渡河
八、六	「モールメン」に集結 終戦時より帰還までの行動の概要
八、八	終戦の大詔渡答、部隊は「暹」作戦に引続き緬甸国「モールメン」に集結すべく行動開始
八、八	緬甸国「モールメン」に集結
二、一〇	日本軍集結地「バマデ」に集結、爾後、作業隊として「トング」に移動
二、九、二五	「マングレー」に移動
二、四、一三	「ラングーン」集結
四、一〇	内地帰還のため「緬甸国」ラングーン港出発
五、二	佐世保上陸
五、三	復員定結解除

93/1~

2039

年月日	概	要
昭天、二 二	名古屋に於て、編成を名結 大阪港出発	編成地 兵出身県名 愛知県
天、一 一	泰国盤谷上陸直に南北緬甸進取作戦に参加 オ三三師団オ五五師団に彈藥糧秣輸送を実施 よりタウンガツア方面に移駐しつゝ印緬国境アキ ヤブ方面への水陸輸送に任じ、三月ダイヤブーに推 進同様任務に服す	岐阜県 静岡県 京都府 三重県
天、二 一	「エナンジョン」方向の急進に伴い「エナン」 に位置し、エナンジョントレパタン間の水陸一貫 輸送を実施	名古屋
天、五 五	進取戦開始せられるや一中隊を軍直一中隊をオ五 五師団に配属主カは、オ五四師団に配属兩中隊の幾 盛期にシツタン平原を突破し、エールメンに至る 持校以下予備役及補充兵を以て編成し大隊本部六 四名六中隊各中隊三九名、計 二四四〇名よりな	

独立輜重兵オ五一大隊（森オ三七五一部隊）

陸軍少佐

井内三  
上根伸  
尾清富  
二  
次郎雄

~2021

2040

参加主要なる作戦（戦斗）の概要

緬甸南北緬甸進攻作戦

泰國盤谷より駭剣ベック山を越え夜を日に継ぐ進撃に

輜重隊の直域を發揮し彈藥糧秣の輸送に任ず

残敵掃蕩並に警備占領地確保並に防衛強化

「アキマブ」方面漸く急迫し、主力はタウンガツプに進出、アキマブ方面への水陸兩用輸送に任ず

三一号作戦ハ另作戦空地防衛後次期作戦準備

敵機ノ攻撃熾烈の中を而も四周ジマンケルノアキマブノタウンガツプ間の水路

輸送に任ずると共に二中隊をアキマブブチドンに進出せしめカ五五師団の彈藥

糧秣補給に伴せて歩兵と伺等変りなき陣地点領等に任ず

完作戦エナンジョン方面の機正に急迫し、一瞬を許さざる状況下イラワチ輸送

隊としてエナンジョンレーパタン間の水陸一貫輸送に任ず  
進作戦

其の部隊の経歴中特異認めらるる事項等

南北緬甸進攻作戦に於て、軍はニヶ師を以て進攻破竹の勢を以て、前進、特に主力の配属となりたるカ三三師団は一刻の遲滞もなく克進攻又進攻一日ニ十里を進攻する事、度々なりき此の時輸重隊の糧秣彈藥輸送は寸断の休みも伴さず、特にカ三三師団原田部隊のマクエ攻略に当り糧秣の不足を知悉しある将兵

年月日	概要
	<p>は、前進に前進えと密に連絡し道路なき河底をよく輸送しマムエ攻路を容易ならしめたるは特筆すべきものなり</p> <p>三一号作戦及び八号作戦に於けるカーニ中隊は最前線印緬国境附近に進出し輸重隊独力を以てよく中隊長以下陣地を固守し、敵を排斥したるは、称讃に値するものなり</p> <p>宍作戦に於て、隸下ニ中隊指揮下六中隊（自動車陸勤等）をよく掌握しエナン・ジョンへの水陸一貫輸送を實施し大に輸重隊の輸送力を發揮せる</p> <p>死傷損耗なし</p> <p>給与</p> <p>全作戦間を通じ、給与は良好と言ひ難し</p> <p>衛生</p> <p>全作戦間を通じ、概ね、良好なりしも昭和一九年以後不良</p>

~334~

2042



オ一四野戦輸送司令部（森カ一ニニ三五部隊）

副官陸軍大尉 小山田四郎

年月日	概	要
昭一六	オ一四野戦輸送司令部編組「タイタ」に於て編成完結す	
五	以後、緬甸「ブルーム」に位置す	
五	「アルーム」に位置し、オニ八軍作戦地区内「タンガッパ」「タムンド」方面の戦斗に参加、	
五	完ニ号作戦「エナンジョン」方面作戦	
五	発起に依り、南方軍の作戦に参加、兵カ及軍需品の輸送に任ず、当期間戦死、行方不明、負傷者なし	
五	五月初旬より七月六日迄「ペグー」山系「メザリ」附近に位置し、糧秣輸送に任じたりしが、オニ八軍連作戦	
七、六	転進により「メザリ」出发	
七、三	山系内より「トンゲー」南方地区平野に進出し、敵の熾烈なる攻撃下に二一日夜、「マンダレ」幹線道路を敵中突破し、敵の砲爆下広漠たる湿地帯を横断し	
七、五	夜「シワタン」河の敵中渡河を決行し	
八	「モールメン」に到着す	

336

1109

2044

年月日	概	要
三 九 未  五 五 一 面	<p>間の損害左の如し</p> <p>戦死……七名      戦病死……二名      生死不明……三一名</p> <p>(内八名に臨時配属せられたる邦人の男女庸人なり)</p> <p>俘虜……一〇名      計      五〇名</p> <p>外に「ペグー」山系内に於て一約迷とす</p> <p>終戦後に一時「モールメン」北方「サルウィン」阿北側地区に集結したりしが、英軍の命により、「パマジー」収容所に入所、「トングー」に移動、各地に於て、英軍側の労務に服す、其の間、人員の損耗なし</p> <p>歴代部隊長      陸軍少将      清      治      平</p> <p>部隊事情精通者</p> <p>東京都杉並区下高井戸四丁目八七四番地</p> <p>(確実な場所……原籍)</p> <p>秋田県仙北郡強首村強首二六八)</p> <p>陸軍大尉      小      山      田      四      郎</p> <p>東京市麹町区丸の内警察署内</p> <p>(確実な場所……原籍)</p> <p>岩手県江刺郡岩谷堂町字一丁目町四〇番地)</p>	

~337~

2108

2045

	年 月 日
	概  陸軍准尉  佐々木  浩  要

~338~

2046

2046





年月日	概	要
昭六 一、二	盤谷着	一三〇五五師団(一、三) 団勦
	軍需品集積輸送に従事	五五連隊
一、三	盤谷発	(一、三) 独自の大隊
一、四	同日、「ピサヌローク」着	五五師団「ラヘエーン」 集結、輸送
一、五	「ラヘエーン」到着	(一、三) 独自の大隊
一、六	「ピサヌローク」及び「スワンカローク」間の兵力、並に軍需品集積輸送	(一、三) 独自の大隊
一、七	「ゴーカーレ」到着	独自の大隊
一、八	「メンード」及び「モールメン」間の兵力、並に軍需品輸送	独自の大隊
一、九	泰緬国境通過	独自の大隊
二、一		独自の大隊
二、二	「蘭貢」到着	独自の大隊
二、三	「トング」着	独自の大隊
二、四	「ピョバ」着	独自の大隊
二、五	「マンダレ」着	独自の大隊
二、六	「メイミョウ」着	独自の大隊
二、七	右各地を基地とする局地輸送(兵力及び軍需品)に任ず	独自の大隊
二、八	「メイミョウ」附近に於ける局地輸送並に整備に任ず	独自の大隊
二、九	「ラシオ」到着	独自の大隊

3402

2048

年月日	概	要
一、一〇	<p>「ラシオ」附近及び「ラシオ」一腕町一芒市間の兵力及び軍需品の集積、輸送に任ず</p> <p>「パドン」到着</p> <p>「プローム」<sup>1</sup>「ダンガツナ」<sup>2</sup>間の兵力及び軍需品の輸送に任ず</p> <p>「パドン」に位置し、前任務続行</p>	<p>(二、九) 榴重五五連隊</p> <p>(四、三) 船船工土連隊</p>
一、一五	<p>「ダラバ」<sup>3</sup>着</p> <p>「タドエ」<sup>4</sup>着</p>	<p>二、五 沖一船司</p>
三、一八	<p>「ダラバ」<sup>5</sup>「ギヤグ」<sup>6</sup>間の兵力及び軍需品輸送に任ず</p> <p>「パドン」<sup>7</sup>着</p>	<p>四、九 工兵、五四連</p>
五、一八	<p>主として「アラカン」<sup>8</sup>山中に分屯し山道の雨季確保作業(碎石等の輸送)に任ず</p> <p>「アラカン」<sup>9</sup>山中に分屯し前任務続行</p>	<p>九、三〇 沖一野道</p>
一、一五	<p>「タドエ」<sup>10</sup>着</p> <p>「メーイ」<sup>11</sup>「ギヤグ」<sup>12</sup>間一輸送業務</p> <p>「タドエ」<sup>13</sup>に位置し、前任務続行</p>	
四、一三	<p>「アラカン」<sup>14</sup>山中に分屯山道の補修作業に従事</p> <p>「アラカン」<sup>15</sup>山中に分屯山道の雨季確保(碎石等の輸送)に任ず</p>	

344

年月日	概 要
二 元	<p>コアラカン 山中に分屯、前任務続行          トウハイ 着          アローム (ガナマトヤ) 着          シエエダン アローム パウンデー 局地輸送          並に アローム エイナンチマン          アローム パウンデー 崗の兵カ及び軍需品輸送に任ず          タンビゴン 着          ペグー 山系に在りて糧秣補給業務並に シンタン 河左岸に至る。          適中突破作戦に参加</p>
一、 五	<p>二〇〇 独轄五一、一回野輸</p>
四、 六	<p>四三三 野輸一回</p>

342

1603

2050



年月日	概
昭和四十九年四月二日	内地返還のため「マンタレー」出発 「ランタイン」着 「ランタイン」出帆 佐世保上陸 同日復員完結

5の11の1

沖ニノ野戦道路隊

オ九五五七部隊

陸軍少佐

阿部金重

年月日	概要
昭五、七、九 五、八、九	<p>長以下一ニ〇名を以て編成す 南支空突に進駐一ヶ月前部仏印「シムレアー」に転進、約三ヶ月間の後、泰國 通過、馬來南下転進す、 此の間、四ヶ月間後、緬甸に転進す 間、トニグロカロム並にミンブに進駐後、ピンマナに転進後、状況の変化に 依り主カはモテ街道より一部はシッタソ由ナケマピエー至由、共に、泰 國、暹羅峽に転進す、 当地に於て、終戦となりアンポパイ転進作業中に竜兵國南泰移動命令に基き、 共にナコンナヨーク集結地に至る 實詞「シムレアー」飛行場設定作業完遂により、感状楯部隊後方アンカンに山 中路として、雨期作業、並に確保及び防衛す、この為、前戦斗部隊と共に、授 与せらる 實詞、ニシブーアンタマド間自動車道路開作業完遂により編成、以未、重なる 転出者関係左の如し</p>

2345~

2053

年月日	概	要
昭和五、七、三	善通寺師團	指揮隷属部隊及び其の變遷の概要
八、八、八	南支方面軍の直轄となり、カ一八師團の指揮下に入る	
八、三、三	カ一五軍の直轄となり、カ七航空地区司令官の指揮下に入る	
八、三、三	カ二五軍の直轄となる	
八、三、三	カ一五軍の直轄となる	
八、三、三	カ二八軍の直轄となる	
八、三、三	竜丘國の指揮下に入る	
八、三、三	部隊長陸軍大佐、片岡鐵藏戦病死	
昭和五、七、三	善通寺師團	指揮隷属部隊及び其の變遷の概要
八、八、八	南支方面軍の直轄となり、カ一八師團の指揮下に入る	
八、三、三	カ一五軍の直轄となり、カ七航空地区司令官の指揮下に入る	
八、三、三	カ二五軍の直轄となる	
八、三、三	カ一五軍の直轄となる	
八、三、三	カ二八軍の直轄となる	
八、三、三	竜丘國の指揮下に入る	
八、三、三	部隊長陸軍大佐、片岡鐵藏戦病死	



年月日	
概	<p>天五 二八 二〇 天 二二 五三 天 五二 九〇</p> <p>陸軍少佐、岡部金竜部隊長に補せらる</p> <p>作戦準備、宝塚―深井間の新設改修補修作業</p> <p>香能遮断作戦 添川―横岡間の復旧作業</p> <p>英文因境遮断並に宝塚地域警備</p> <p>深井公路復旧並に宝塚公路改修</p> <p>東江作戦</p> <p>宝塚地域主要公路の確保</p> <p>大東亞作戦準備「シムレアー」飛行場設定作業</p> <p>南部馬未攻畧作戦「タイピニー」「イポー」間架橋及び道路修復</p> <p>新嘉坡攻略作戦 「イポー」ゲマス間架橋及び道路修復</p> <p>シヨホルバル警備</p> <p>シヨホルバル水道陸橋保護及び交通整理</p> <p>「ラングーン」トンネル間自動車道</p> <p>残敵掃蕩警備、雨期作業</p>
要	

~347~

2055

年月日	一 九 一 九	五 三	三 三 三	一 三 三
概 要	<p>占領地確保 プロローム、タンカッポ間自動車道  対空戦斗 南拓作業  三一号作戦 プロローム、タンカッポ間自動車増設  楯部隊後方補 及対雨期作業  タルアラカン山中路雨期、プロローム、タンカッポ間  確保作業及び防衛空地防衛強化及び、次期作戦準備及び八号作戦の一部  プロローム、シニデー、タンカッポ間、自動車道増設及び雨期確保作業  戦死兵一、戦傷死兵一、戦病死、下士官一、兵三  天候不良等の為の給養衛生状況、極めて不良となり、「マシリマ」罹患者戦  病死者</p> <p>死傷損耗 給 与 衛 生</p> <p>八号作戦 ミンブーアン、マンド間 統出レ出戦可能人員  九号作戦 自動車道増設 戦傷死兵一 総員の一〇%に低下するに至る  完作戦 戦病死  将校 一  兵 四</p> <p>克作戦 ミヨラートン、グー、間付近  戦斗及び遠米境西北境壁</p>			

~348~





年月日	概要
昭 〇 一 一	北泰（ランパン、ケンタン、タカオ）に於て、兵 站業務従事す 指揮隷属関係及び其の変遷概要
二 五	秦駐屯軍に隷属す 盤谷貨物支廠の指揮下に入る
四	チー八方面軍新設せらるるのに及び其の隷下となり、同時にチー八方面軍野戦貨物廠の指揮下に入る 参加せる主要なる作戦（戦斗）の概要 部隊履歴 入の外特に入すべき事項なし 終戦より帰還迄の行動の概要
二 三 六	終戦後チー八方面軍野戦貨物廠と共に泰国ナインナヨークに集結す 現地復員し、チー二野戦道路隊に編入せらる

257

0000

2059

独立速射砲第一四大隊

陸軍中佐 中尾七男

年月日	概	要
昭二 二五	<p>軍令陸甲中七九号に依り、緬甸國「アキマブ」に於て、独立速射砲第一中隊を復員し、独立速射砲第一四大隊を編成、第一五軍の戰鬥序列に入る</p> <p>大隊（中三中隊）は第一五師團に配属せられて「アキマブ」島及び、南部「マユ」半島防衛並に「ハ」号作戦に参加</p> <p>「ハ」号作戦</p>	<p>戦死戦傷死 三八</p> <p>戦病死 三</p> <p>負傷者 三〇</p> <p>生死不明 一</p>
元五 三五	<p>「キョキット」附近の戰鬥「ドンギヤン」附近の戰鬥</p> <p>「ニ」高地の戰鬥 「ゴチドン」奪回戰鬥</p>	<p>生死不明 一</p>
一、一	<p>第一中隊は第一五師團に配属せられて「タウンガッブ」</p> <p>次いで「ラムレー」島及び「ケエドバ」島の警備並に陣地構築に従事す</p> <p>現配属現配置の儘、緬甸方面軍の戰鬥序列に入る</p> <p>現地配属現配置の儘、第一八軍の戰鬥序列に入る</p>	<p>戦病死 一六</p>
一、一	<p>第一五師團配属</p> <p>大隊（本部、第一中隊大空小隊、第二中隊段列）</p>	<p>戦病死 一六</p>

27の外

1952

2060



年月日	概	要
昭和 五 年 一 月 八 日	<p>長沢部隊長の指揮下に在りて「サンドウエー」附近の防衛            中五師団配属            中二中隊            白谷部隊長の指揮下に在りて「バセイン」地区の防衛            中五師団より大隊主カが其の指揮下を離れるに際し「ハ」号作戦の功に依り、            賞詞を授与せらる</p> <p>「完」号作戦並に次期作戦準備            中五師団配属のもの「完」号作戦参加            「カンゴウ」附近の戦斗            「ドナカン」附近の戦斗            「トマンド」附近の戦斗            「レモウ」附近の戦斗            但し、中三中隊主カは「サンドウエー」次いで「タウンカッパ」附近の防衛            中五師団配属            中二中隊は「バセイン」地区の防衛、並に、次期作戦準備            「レモウ」附近の戦斗に於て中五師団長より賞詞を授与せらる            「遠」作戦 「克」作戦 「堅」作戦 参加並に転進            戦死戦傷死三七            大隊主カ（本部、中一中隊、中三中隊一小隊段列）は            戦病死五六</p>	<p>戦死戦傷死 五            負傷 七            生死不明 二</p>

254

2062



年月日	経過 要
概	<p>オ五師團よりオニハ軍の隷下復帰レ「アン」附近より「イミンブ」ー「タイトミヨウ」ー「バドン」南方にて「イラワジ河渡河レ「ニオン」ー「ビン」附近「トングア」南方にて「シタン」河渡河レ「チャウタイ」「ケマピエ」南方地区にて「サルウイン」河渡河「カレン」州「メッセ」殆んど入院</p> <p>オ一中隊の健康者のみ「モールメイン」に向う</p> <p>オ三中队（一小隊欠） 遺作戦参加</p> <p>騎兵オ五五連隊の指揮下に在りて「ラランミヨウ」「パロ」附近の戦斗に参加、 漸後「バク」山系を経て「モールメン」に向う途中、生死不明及び入院の為全員を失う</p> <p>オニ中队はオ五五師團 次いで「SD 36D」等に転々配属換へせらるる「ク」作戦「堅」作戦に参加</p> <p>「ビンナマ」附近の戦オ「モウチ」街道上の戦オを行い後「モールメン」に転進す</p> <p>右に依り、オニ中队は、オ一五師團長より賞詞を授与せらる</p> <p>オ一オニ中队</p> <p>「モールメン」集結「テナセリウム」地区「ムドン」及び「カポート」に於て</p>

2355

年月日	概要
<p>略 至 一 六、二二 七、九 七、二</p>	<p>終戦、処理並に諸作業、復員業務に従事す。戦病死。三一 本部、中三中隊、段列は入院患者大部は「シヤム」に於て他兵団へ転属せしめ らる。 復員の為輸送業務、 内地帰還のため「モールメン」出帆。 内地大竹港上陸 復員完結</p> <p>歴代部隊長名 陸軍中佐 中尾七男 部隊事情精通者</p> <p>佐賀県佐賀市下今霜町六〇 陸軍中佐 中尾七男 (全殺)</p> <p>広島県三郡郡田村字面倉 陸軍准尉 杉本信義 (全殺)</p> <p>長崎県諫早市大字東長田泉峯町 陸軍准尉 松本強 (中一中隊)</p> <p>奈良県磯城郡櫻井町字粟殿 陸軍少尉 竹村恒男 (中二中隊)</p>

356a

2064



才五田師団司令部

年月日	略	要
昭六 二 五	編成下令	
三 五	編成完了	
三 五	内地港湾(半品)	
四 八	タンジョンブリヨク上陸	
七 四	瓜哇スラバマ港出発	
九 三	「ビルマ」ラングーン港上陸	
九 九	空地防衛強化並に次期作戦準備	
五 三	八号作戦参加	
五 三	九号作戦参加	
五 三	遺作戦参加	
六 三	「ビルマ」国「ダトン」県「チエガマン」に集結	

2500

2000

2066

その内

歩兵カーニー連隊

年月日	要
昭和八年二月二日	編成下令
昭和八年二月七日	編成完結
昭和八年三月八日	宇品港灣出発
昭和八年三月十四日	「ジャワ」シマカルタ「タンジヨン」ブリオク「港上陸
昭和八年三月十八日	東部凡陸防衛並に次期作戦準備
昭和八年三月二十日	空地防衛強化並に次期作戦準備
昭和八年三月二十三日	八号作戦参加
昭和八年三月三十一日	九号作戦参加
昭和八年四月五日	連作戦参加
昭和八年四月七日	緬甸国「タトン」東「チエシマン」終結地

857~

2067

年	月	日	昭六	二	七
			四	三	編成下令
			四	八	内地港灣出発
			四	三	戦地上陸
			五	九	緬甸空地防衛強化並に次期作戦準備
			五	三	八号作戦
			六	三	完作戦
			四	五	進作戦
					終戦後部隊集結地

概

要

歩兵才一三一連隊

760

2068

昭 和 二 五 年 三 月 三 日	概
編成下令	歩兵第一五四連隊
編成完結	
編成担任部隊	
内地港灣出發	
戦地上陸(馬末爾南港)	
馬末防衛並に次期作戦準備	
空地防衛強化並に次期作戦準備	
八号作戦参加	
完作戦参加	
遷作戦参加	
終戦後部隊終結	ビルマ國、ダトン嶽、レパン

~361~

2069

搜索才五回連隊

年 月 日	概 要
昭和二十二年 四月五日	編成下令 編成完結
六月二日	編成担任部隊、搜索才五回連隊補充隊 内地内地港湾出発
七月三日	西貢戦地上陸
九月二日	「ビスマ」ラングーン港上陸
九月三日	「バ」号作戦参加
九月五日	「冠」作戦参加
九月六日	「邁」作戦参加
九月六日	「ビルマ」国「ダットン」県「チエヂヤン」に終結

3620

1805

2070



野砲兵少五四連隊

年月日	概要	要
昭和八年二月二十三日	臨時編成下令	
昭和八年二月二十二日	編成完結	
昭和八年二月二十一日	編成担任部隊、野砲兵少五四連隊補充隊	
昭和八年二月二十日	内地港灣出發	
昭和八年二月十九日	昭南戦地上陸	
昭和八年二月十八日	空地防衛強化並に次期作戰準備	
昭和八年二月十七日	「ハ」号作戰参加	
昭和八年二月十六日	「完」作戰参加	
昭和八年二月十五日	ビルマ國「タトン」県チエシヤンに終結	

2363~

工兵才五回連隊

年月日	概	要
昭八 三 一	動員下令	
三 八	動員完結	
三 二	宇岳港出帆	
四 三	昭南港上陸	
四 三	馬來泰國境通過	
〇 四 三	泰緬國境通過	
二 二 元	イビルマ <sup>レ</sup> に於て空地防衛強化並に次期作戦準備	
二 二 元	イビルマ <sup>レ</sup> に於て八号作戦に参加	
三 三 三	死没四	
三 三 三	生死不明二	
三 三 三	イビルマ <sup>レ</sup> に於て、完作戦に参加(サンダーガ、カンゴウ、ダレダマンドラム、レ島の諸戦斗)	
三 三 三	死没一七九、生死不明三五	
三 三 三	イビルマ <sup>レ</sup> に於て、過作戦に参加(二千料に亘る大転進作戦)	
三 三 三	死没一八七	
三 三 三	生死不明 三三五	

30の外

364

1508

2072

年月日	
概要	<p>歴代部隊長 陸軍大佐 大田 智 部隊事情精通者 岡山県御津郡一宮村 陸軍中尉 里住 正夫 兵庫県津名郡大町村 陸軍曹長 谷池 正男 岡山県上房郡高梁町 陸軍軍曹 山口 保</p>

365~

1378

2073

才五回師團通信隊（兵才一〇ニ九部隊）

年月日	概	要
昭八 二 五	臨時編成下令	
三 八	編成完結	
八 五 三	編成担任部隊 才五回師團通信隊補力隊 内地港灣	
六 五	戦地上陸	
六 三	東部内陸防衛並に次期作戦準備	
八 三	緬甸空地防衛強化並に次期作戦準備	
五 三	緬甸空地防衛強化並に次期作戦準備	
五 三	イハノ号作戦	
六 三	イウノ号作戦	
八 五	イロノ号作戦	
九 一	部隊集結地「ビルマ」国「ダトン」県「チエジマン」	

1366~

6303

2074

船重兵才五回連隊

年月日	概	要
昭和八 年 二月 二十六	編成下令	
	編成完結	
	編成担任部隊	船重兵才五回連隊補九隊
	宇田港港出発	
六 月 三	戦地上陸(昭南)	
七 月 三	「マライ」「ペナン」港出発	
八 月 三	「ビルマ」「ラングーン」港上陸	
九 月 三	「ハ」号作戦参加	
五 月 三	「完」作戦参加	
六 月 三	「遠」作戦参加	
九 月 六	終戦時部隊「ビルマ」国「タト」県「ケエザマン」集結地	

367

3800

2075

才五田師団兵隊勤務隊

年月日	概
昭八、二、二	編成下令
昭八、四、四	編成完結
昭八、六、三	編成担任部隊、歩兵オナー連隊補充隊 内地港灣出發（門司）
昭八、七、三	戦地上陸（昭南港）
昭八、八、七	「マライ」昭南港出發
昭八、八、天	「ビルマ」「ラングーン」港上陸
昭八、八、天	空地防衛強代並に次期作戰準備
昭八、八、三〇	「ハ」号仇戦参加
昭八、八、三〇	「完」作戦参加
昭八、九、六	遺作戦参加
昭八、九、六	「ビルマ」「国」「イタトン」「梟」「グエジマン」終戦部隊集結地

リ  
の  
ト

362